

東京都 ICT戦略

【目的】

- ・ 今後5年間の都施策におけるICT利活用の方向性を示す

【展開時期】

- ・ 東京2020大会時：ICTのショーケースとなり得る事業を複数展開
- ・ 大会後：レガシーとし、さらにICT化推進

ICT戦略の基本的考え方

【4つの柱】⇒ 3シティの実現に的確に反映

柱1：都市機能/都民サービス向上にICT活用

柱2：データを活用

柱3：ICTを活用し官民連携で行政課題解決

柱4：民間のICT活用を後押し、生産性向上・
新価値創造を図り、東京・日本の成長へ

3つのシティの実現（セーフ シティ）

- **公共インフラ維持管理**

ICT（IoT、センサー、ロボット等）を活用して情報をデータベース化し、予防保全型管理

- **防災・減災**

災害時にSNS等を活用した情報収集

- **警備等**

犯罪被害が及ぶ兆候をWeb上の情報から早期把握

3つのシティの実現（ダイバーシティ）

- **ビッグデータ活用**

都民ニーズを把握・分析、施策検討に生かす

- **ロボットほかICTの活用**

次世代介護機器の効果検証・普及促進

- **働き方改革**

テレワークの都庁率先導入

保育現場でのICT化の推進

3つのシティの実現（スマート シティ）

- **産業振興**

中小企業が取り組む I O T 活用等を支援

- **観光・多言語**

デジタルサイネージ一斉配信の仕組構築（災害等）

- **オープンデータ**

A P I 活用でオープンデータの民間利活用促進

- **行政手続電子化**